

精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ評価ルーブリック

評価項目	観点	A (23点)	B (21点)	C (16点)	D (1つでもあてはまれば不合格)
1. 精神障害のある人のための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、援助に活用できるようになる。	精神障害のある人のための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知ることができるか。	精神障害のある人のための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを充分に知っている。	精神障害のある人のための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを一部問題があるものの、ほとんど知っていることができる。	精神障害のある人のための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを一部知っていることができるが、ほとんどの部分で知らない。	精神障害のある人のための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを全く知らない。
	精神障害のある人のための諸制度、サービスについて学習した内容を援助に活用できているか。	精神障害のある人のための諸制度、サービスについて学習した内容を援助に充分に活用できている。	精神障害のある人のための諸制度、サービスについて学習した内容を一部問題があるものの、ほとんどの部分で援助に活用できている。	精神障害のある人のための諸制度、サービスについて学習した内容を一部援助に活用できているが、ほとんどの部分で援助に活用できていない。	精神障害のある人のための諸制度、サービスについて学習した内容を全く援助に活用できていない。
2. 精神障害のある人のための関係機関や職種の役割を理解し、本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を担うことができるようになる。	精神障害のある人のための関係機関や職種の役割を理解できているか。	精神障害のある人のための関係機関や職種の役割を充分に理解できている。	精神障害のある人のための関係機関や職種の役割を一部問題があるものの、ほとんどの部分で理解できている。	精神障害のある人のための関係機関や職種の役割を一部理解できているが、ほとんどの部分で理解できていない。	精神障害のある人のための関係機関や職種の役割を全く理解できていない。
	精神障害のある人のための関係機関や職種の役割について理解した内容を活用し、本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を担うことができるようになったか。	精神障害のある人のための関係機関や職種の役割について理解した内容を活用し、本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を充分に担うことができるようになってきている。	精神障害のある人のための関係機関や職種の役割について理解した内容を活用し、本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を一部問題があるものの、ほとんどの部分で担うことができるようになってきている。	精神障害のある人のための関係機関や職種の役割について理解した内容を活用し、本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を一部問題があるものの、ほとんどの部分で担うことができるようになってきている。	精神障害のある人のための関係機関や職種の役割について理解した内容を活用し、本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を一部担うことができるが、ほとんどの部分で担うことができていない。